

第3回基本構想審議会のご意見について

参考4-1

1. 基本構想(素案)について

No	意見	ご意見の反映・回答
1	基本理念(3)「としまらしさを生かす」だが、未来を先取りするまちみたいな感じのキャッチコピーにしてみてもどうか。	基本計画の各施策の審議状況を勘案しつつ、基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。
2	基本理念(3)「『としまらしさを生かす』」に「訪れたい誇れるまち」ということを書いてるのだから、「誰もが居心地の良い歩きたくないまち」という中に、この「訪れたい」というところを、もう少し表現したかどうか。	「魅力ある都市の創出」、「回遊性を高める」などで表現を試みているところではありますが、基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。
3	基本理念(3)「『としまらしさを生かす』」のところで、生かした後どうなるのかということが、理念に書かれているのが望ましい。何を最終的に目指すのかという点でいうと、「住みたい、住み続けたい、訪れたい」ではないかと思うので、そのファクターを各「まちづくりの方向性」に表現したほうが良い。	基本計画の総論の審議状況を勘案しつつ、基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。なお、基本計画においては、「住みたい、住み続けたい、訪れたい」まちの実現に向けて各施策の内容を検討してまいります。
4	資料3-2-1の一番下の「新たな行政経営」は「基本構想の実現に向けた新たな行政経営」としてはどうか。	基本計画の「新たな行政経営(仮称)」の審議状況を勘案しつつ、基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。
5	資料3-1「子ども・若者が自分らしく成長できるまち」に、「子ども・若者の声を聴き、寄り添い…」とあるが、こども基本法・子どもの権利条約では、子供が権利の主体であると意見を表明して、それが施策に反映できるような環境を整備するというのが行政の役割であるという規定がなされているため、「声を聴いて寄り添ってあげる」ではなく、「子供・若者が意見を表明してそれが生かされるまちづくり」というような前向きな表現がよいのではないかな。	まちづくりの方向性3「子ども・若者が自分らしく成長できるまち」の施策の審議状況を勘案しつつ、基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。
6	自治基本条例に「豊島区で共に暮らし、働き、学ぶ私たち区民は、自ら主体的にまちづくりに参画する」とあるように、理念の中に区民がまちづくりをやっていくんだ、主体的にやっていくんだってことがわかるような表現を入れてほしい。	「みんなをつなげる、みんなでつくる」において表現を試みているところではありますが、基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。なお、基本計画においてはより具体的な内容で表現してまいります。
7	ジェンダーをもう少し丁寧な表現に変えたほうが良いのではないかな。	さまざまな多様性の例示として掲げているものでありますが、ジェンダー平等については、基本計画においてより具合的な内容で表現してまいります。
8	まちづくりの方向性2「ぬくもりのある子育てしやすいまち」について、「ぬくもりのある」という漠然とした言葉ではなく、具体的な表現がよいのではないかな。	基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。
9	基本理念(3)「としまらしさを生かす」は、「生」より「活」がよいのではないかな。 *「生かす」は生命に関することを表し、「活かす」は生き生きとした様子や、能力や特性を有していることを表す。	基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。
10	豊島区が一番本当に行いたいこと(例えば、人口を増やしたい・子育て世代を増やしたい・住んで楽しいまちしたい 等)何か裏テーマがあったほうが、よいのではないかな。現状の表現だと、この先どのような豊島区にしたいのか漠然としていて見えずらい。	基本構想は長期的なまちづくりの方向性を示すものであり一定程度抽象的な内容となっておりますが、基本計画では、各施策において目指すまちの姿を具体的に掲げてまいります。

No	意見	ご意見の反映・回答
11	基本理念(2)に「困難な状況に置かれた人が、その生命や権利が確実に保障される社会を目指します」というような表現を入れられないか。また、まちづくりの方向性2又は3の表現方法だが、虐待や貧困などの「子供の福祉」に関することを読み取れる表現にできないか。	まちづくりの方向性3「子ども・若者が自分らしく成長できるまち」の施策の審議状況を勘案しつつ、基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。
12	理念が総じて文章が長く、120～150文字になる。一文が100文字を超えると読解が困難になるとされるため、2文構成にするのはどうか。 例)豊島区にはジェンダーをはじめ、年齢、国籍、心身の状況、社会的・経済的状況、意見や価値観の違いなどの多様性を持つ区民がいます。区民一人ひとりが幸せを感じ、あらゆるライフステージにおいて健康で自分らしく過ごすために、多様性を認め、声なき声にも耳をすませ、誰もが平和を享受できるまちを実現していきます。(148文字)	基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。
13	「賑やか」「牽引」は常用漢字外のため、「にぎやか」「率先/率いる」などの置き換えが必要ではないか。	基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。区民目線で分かりやすい表現に努めてまいります。
14	3つの基本理念について、文字数がある程度揃えると語感が良くなる。「みんなをつなげる(8)みんなでつくる(7)」に対して「としらしさを(7)生かす(3)」→「としらしさを(7)●●●で生かす(7)」などになるとリズムが良くなる。	基本構想の素案を決定するまでに修正について検討させていただきます。

2. 基本計画の策定方針について

No	意見	ご意見の反映・回答
15	施策体系の考え方について、ジェンダーの視点が欠けている。	すべての施策の土台となる考え方として、ジェンダー平等を位置づけております。

3. 将来人口推計について

No	意見	ご意見の反映・回答
16	「供給」もあれば(中低層アパートとしての集合住宅を中心とした)「減失」も生じている可能性がある。これまでも言及されているが、規模別の供給戸数整理と反映(ワンルームマンションとファミリー世帯向け)してほしい。この点は「豊島区住宅マスタープラン」との(所管課の考え方を含めた)整合性を取ってほしい。	第3回基本構想審議会でお示した将来人口推計では、「減失戸数」は考慮せず、「供給戸数」の平均値をベースとして集合住宅の影響を推計しています。現在、他区の推計方法の調査分析を進めているところであり、集合住宅と移動率との関係や住宅の規模別の影響等についても精査を進めております。 なお、「豊島区住宅マスタープラン(令和6年3月策定)」で示している住宅供給数の見込みは、「豊島区人口ビジョン(平成28年3月)」による人口推計をベースとしており、また、住宅ストックの適正量という観点から住宅供給数を算出しているものです。 基本計画の人口推計と整合を図ることが妥当かどうかを含め、今後も様々な基礎情報を基に検討を行い、推計の精度を高めてまいります。
17	「純移動率比較一覧」の中で、豊島区男性「60→61, 61→62, 62→63, 63→64」はプラスであるが、これはどう解釈するか(加えて、60代として集計してしまった下表ではマイナスとなってしまうことの意味も含めて)。加えて、豊島区女性の40代については、純移動プラスであるが、どう解釈するか。	転入の要因を具体的に特定することは困難ですが、60代前半の男性の転入超過傾向については、豊島区出身で定年退職した方などが転入していることが要因の一つとして考えられます。一方、60歳代として集計した場合に転入超過となってしまう要因としては、65歳以降の方の区外の子息との同居や介護施設への入居が要因の一つとして考えられます。 同様に、40代前半の女性の転入超過傾向については、小学生あたりの人口が増加傾向にあることから、子どもが小学校に入るタイミングで通学等を考慮し転入している世帯があることが要因の一つとして考えられます。